

病理科

プログラム名： 川崎医科大学病理専門研修プログラム

定員： 各年次2名 合計6名

プログラム年数： 3年

総医Cプログラム担当者： 病理科(病理学) 秋山 隆

総医C問合せ先： Tel. 086-225-2111(代表) 内線 48048 (秋山)

E-mail: mozart@med.kawasaki-m.ac.jp (秋山)

研修スケジュール：

| | 1年目 | | | | 2年目 | | | | 3年目 | | | |
|---|-----------------------------------|------|--------|------|-----------------------------------|------|--------|------|-----------------------------------|------|--------|------|
| | 4～6月 | 7～9月 | 10～12月 | 1～3月 | 4～6月 | 7～9月 | 10～12月 | 1～3月 | 4～6月 | 7～9月 | 10～12月 | 1～3月 |
| A | 附属病院 病院病理部で研修 (週1回総合医療センターで研修) | | | | 附属病院 病院病理部で研修 (週1回総合医療センターで研修) | | | | 附属病院 病院病理部で研修 (週1回総合医療センターで研修) | | | |
| B | 附属病院 病院病理部で研修 | | | | 附属病院 病院病理部で研修 | | | | 6ヵ月総合医療C 6ヵ月附病 | | | |
| C | 附属病院 病院病理部で研修 | | | | 3ヵ月総合医療C 9ヵ月附病 | | | | 3ヵ月総合医療C 9ヵ月附病 | | | |
| D | 大学院生として研修を行う(別途相談) | | | | | | | | | | | |

研修に際しては病理学教室に所属する。研修期間中に大学院への入学を希望する場外のプログラムも策定している。

A～Dいずれの場合も依頼があれば、(独)国立病院機構福山医療センター、静岡県立静岡がんセンターへの診療支援に参加することがある。

基幹施設と連携施設：

| | | |
|------|---|---------------------|
| 基幹施設 | 川崎医科大学附属病院 | 27～30ヵ月 |
| 連携施設 | 川崎医科大学総合医療センター (独)国立病院機構福山医療センター 静岡県立静岡がんセンター | 6～9ヵ月 (希望により延長可) |

プログラム統括責任者： 川崎医科大学附属病院病理部 塩見 達志

プログラム基本情報：

川崎医科大学附属病院(病院病理部)を基幹施設とし、3年間の研修中に、川崎医科大学総合医療センター(専門研修)をローテイトするとともに、福山医療センター・静岡県立静岡がんセンターへの診療支援にも参加し、病理専門医資格の取得をめざします。

研修目標・到達目標：

[研修目標] 生検、手術材料の病理診断、病理解剖といった医療行為に習熟し、病理学的研究の遂行と指導、研究・医療の倫理的事項の理解、医療現場での安全管理の理解、専門医の社会的立場の理解等の幅広い能力を有すること。

[到達目標] 病理学会から配布される「専門医研修手帳」と「専門医マニュアル」に基づいて、現場で研修すべき学習レベルと内容が規定されている。剖検は主執刀者として独立して実施できる30例を経験すること。

取得可能な専門医：病理専門医